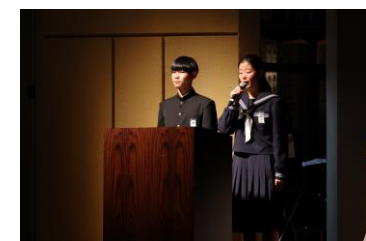


# 総合文化祭でも上中学生の良さが発揮されました。

11月6日(日)に山口県中学校文化連盟主催の総合文化祭柳井大会がサンビームやないを会場に行われました。この文化祭には、柳井地区8校の中学生がかかわりましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策として一堂に会することができず、4校ずつ午前・午後に分かれての参加となりました。

本校は午前の部に参加しました。オープニングでは、「翼をください」の全体合唱に参加しました。会場一体に広がる歌声の響きは、これから始まる大舞台への期待感を膨らませました。



午前の部の司会進行は、本校の3年生2名が務めました。堂々とした態度で立派に大役を果たすことができ、大きな自信につながりました。

また、かみのせき學苑祭でも発表した演劇「泣かない仲間」を発表しました。學苑祭とは異なる雰囲気に出演者の緊張も計り知れなかったと思われませんが、その中で役者、音響、照明、小道具とそれぞれの役割をしっかりと果たし、見事に演じ切りました。多くの学校の先生方から「素晴らしいかったですね」との声をいただき、私もうれしく、そして誇らしく思いました。

コロナ禍で無観客での開催となり、本校生徒の素晴らしい姿を見ていただくことが叶わなかったことは残念ではありましたが、生徒はそれぞれの立場で「自分を信じて 何事にも挑戦! 私ならできる!! 君ならできる!!!」を表現することができたとともに、「文化の秋」を満喫した半日となったことをご報告いたします。



## 12月の行事予定

日	曜	学校行事・一般行事	給食	バス	日	曜	学校行事・一般行事	給食	バス
1	木		○	17:00①	16	金		○	17:00①
2	金	生徒集会	○	17:00①	17	土			
3	土				18	日			
4	日				19	月		○	17:00①
5	月	3年三者懇談	○	17:00①	20	火	専門委員会、生徒会引継ぎ	○	17:00①
6	火	3年三者懇談	○	17:00①	21	水	1・2年保護者懇談会	○	15:05①
7	水	職員会議	○	15:05①	22	木	1・2年保護者懇談会	○	17:00①
8	木	生徒会役員選挙	○	17:00①	23	金	終業式、内外清掃、職員打合せ	○	13:00①
9	金		○	17:00①	24	土			
10	土				25	日			
11	日				26	月			
12	月	校内推薦委員会	○	16:05①	27	火			
13	火		○	17:00①	28	水	学校閉庁日		
14	水	職員会議	○	15:05①	29	木			
15	木		○	17:00①	30	金			
					31	土	大晦日		

【1月の行事予定】(予定ですので変更することもあります)

備 1日:元旦 4日:公務始め 9日:成人の日 10日:始業式・年頭所感・専門委員会  
考 11日:3年校内テスト・3年学年末テスト発表・職員会議 12日:3年三者懇談会(希望者)  
13日:学校公開日・書初め展・生徒集会・立志の誓い 18日:3年学年末テスト・職員会議  
23日:1・2年校内テスト 25日:職員会議 30日:専門委員会



〈学校教育目標〉  
郷土愛と生きる力を  
育む教育の推進

上関町立上関中学校  
学校だより No. 9  
令和4年11月22日

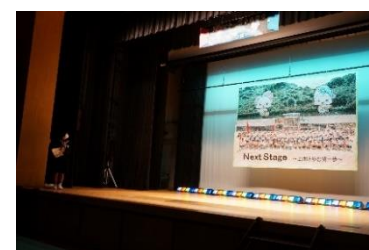
HPアドレス <http://www.town.kaminoseki.lg.jp/kami-juniorhighschool/index.html>

## 特集:かみのせき學苑祭を終えて

11月3日(木)の文化の日、上関町総合文化センターを会場にかみのせき學苑祭を開催しました。今年度より、上関小・中学校合同での行事として、新たな歩みをスタートしました。文化祭テーマ「Next Stage~上関と歩む第一歩~」のもと、生徒はテーマの実現をめざし、素晴らしい取組を見せてくれました。

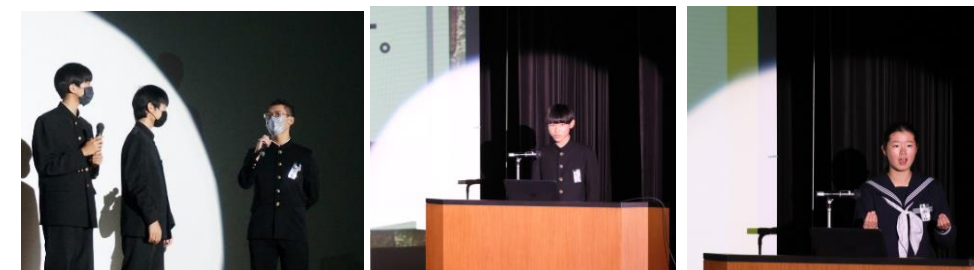
今月号は、かみのせき學苑祭での様子を写真と生徒の感想(文中「朱書き」)とともに振り返ります。

当日は、実行委員会の企画によるオープニングからの幕開けとなりました。「3年生がものすごく頑張っていて尊敬します。特につくられたスライドが見やすくすごいなと思いました。【2年】」時間をかけて綿密に計画されており、初のチャレンジとなる行事への緊張感と期待感を抱かせるスタートとなりました。



続いて、モニュメントの発表がありました。今年は、小学校との共同制作で時間も手間もかかりましたが、その分皆の手で作り上げられたことが実感できる思い出深い作品になりました。「モザイクは小さな色紙を1枚ずつ貼っていくのが大変だったけど、その分楽しかったです。【2年】」「どんなものができるかワクワクしていました。見たときに、わぁすごい!と思いました。きれいなモザイク壁画ができていてすごかったです。【2年】」

続いて、科学発表・英語暗唱が行われました。県や郡の発表を経験したとは言え、皆の前での発表は緊張したと思いますが、堂々と発表が行われた上、プレゼンを用い視覚的な工夫も行われており、質の高い発表がなされていました。「あんなに長い文章を言うのがすごいなと思いましたし、カッコ良かったです。【1年】」



各学年のステージ発表では、1年生は『かみのせきPRプロジェクト』と題し、地域の方からの講話や現地調査を重ね、我がふるさと“上関”の良さについて発表しました。保護者のみならず、地域の方にも聞いてもらいたい発表でした。「1年生の学年発表は上関のことが詳しく調べられていたし、動画もあって見ていて楽しかったです。【2年】」



2年生は、『商品開発 in ふるさと』と題して、総合的な学習の時間の学びの過程をプレゼンや演劇を通してわかりやすく説明しました。また午後から販売する二つの商品のCMも行い、期待感を膨らませることに成功しました。



『古都から学ぶ新たな発見』と題して行われた3年生の学年発表は、修学旅行の思い出と学んだ内容が写真とメッセージで綴られていました。旅行での思い出や奈良・京都の歴史に関して時折クイズ形式で出題するなど、観ている人にも楽しんでもらえるよう工夫された発表でした。



中学生の後は小学校の発表でした。まず、下学年(小1~3年生)の素敵な合奏と可愛いダンスが披露されました。また、上学年(小4~6年生)の水軍太鼓の発表も学苑祭に彩を添えました。「小学校のダンスは、とても可愛くて今まであった疲れが取れました。それぐらい見ている人を楽しませるダンスでした。【2年】」「小学校の太鼓も良くなっていて、低学年も可愛くて癒されました。【1年】」「私は初めて水軍太鼓を見たのですがとても良いものでした。【2年】」



続いて行われた実行委員会企画では、小・中学生、教職員、保護者を巻き込んで学苑にまつわるクイズやゲームなどで大いに盛り上がりました。

「うらやましく思いました。私は静かに発表するよりも全員参加でワイワイする方が好きだからです。3年生になったら是非やりたいです。【1年】」

ステージ系による発表「泣かない仲間」では、本校の伝統となりつつある素晴らしい演劇が今年も披露されました。「学校より結構広いのに声通っていてすごいなあと思いました。また主人公の気持ちかわかりやすい演技でした。【2年】」「劇であんなに長い台詞をしっかり覚えられていて感心したし、すごいなと思った。【2年】」

また、演者だけでなく、小道具が緻密につくられていたり、音響や照明の効果をいんだんに活用したりと、演劇の出来栄を引き上げていました。「劇の道具づくりは大変でした。切り株をつくるだけでかなりの時間がかかり、途中は間に合うか不安でした。【2年】」「役者と裏方では役割が違いますが、裏方の人も大変そうだけど楽しそうでした。【1年】」「スポットライトをどこで誰に当てるか覚えるのは大変だったろうなと思いました。1つもミスなしでできていてすごかった。【2年】」



今年は、3年生が全員実行委員会に所属した関係で、演劇を作り上げたのは全て1・2年生。来年度への期待感が大きく膨らむ演劇でした。「劇では台詞は少なかったものの、他の人から“かなりいい”と言われたのでうれしかった。【2年】」「世界観がおもしろかった。照明の切り替わりなども自然だった。おもしろかった。【3年】」

フィナーレを飾る学苑祭合唱では、小学校の合唱「Believe」に続き、「みんな頑張って“COSMOS”“手紙”を歌いました。【1年】」会場は美しい歌声と感動に包まれました。本校では、神出先生の日頃の熱心なご指導を生徒が受け取り、生徒同士で意見や思いを語り合いながら練習を重ね、生徒自身の手で歌をつくり上げています。指導者が常にはいないということ逆を逆に“強み”にしている本校の「目に見えないカリキュラム(=伝統)」が存



在し、それが脈々と受け継がれていくことを実感できた瞬間でした。

そして、小・中学生による「翼をください」は、かみのせき学苑祭のねらいの達成を象徴するような素晴らしい合唱がホールいっぱいに広がりました。

「小中全員で歌うことは少なかったが、あれだけのクオリティが出せたことは印象に残っている。【3年】」



エンディングでは、まず準備期間中の児童・生徒の姿が映像に流れ、学苑祭に対する思いを皆で共有しました。また、企画・運営に関わってきた実行委員である3年生から、児童・生徒や観覧者への感謝の言葉などが送られました。「オープニングでは面白さがあり、エンディングでは皆の頑張っている姿が映っていて感動的でした。特にエンディングでは、“青春”という感じが出ていてとても良かった。【1年】」「最後に今まで準備してきた様子を映像で見ることができてとても感動した。【3年】」



また、研修室や2階などに設置された展示も素晴らしい作品が並びました。各教科等の児童・生徒の作品をみると、子どもたちの成長していく過程が想像でき、小中一貫の良さが凝縮されていました。また新聞紙エコバッグも美しくアレンジされ、育友会の連帯感を感じるとともに、“大人の学び”が表現された素敵な空間が出来上がっていました。



午後からは、総合文化センターを出て、各学年の総合的な学習の時間の成果を発表する場となりました。



1年生は、自分たちが調べ作成した「歴史・観光パンフレット」を保護者や道の駅にいられた一般の方に声をかけ配付することで、上関の良さをPRしました。「皆で一生涯懸命つくったパンフレットを積極的にたくさんの人に配ることができたのも良かったと思います。【1年】」

2年生は、商品化した二つの商品の販売を実施しました。「商品販売では、あっという間に“車エビドッグ”と“ふーたん・レーたんクッキー”が売れて驚きました。【2年】」「準備の時に商品の値段や個数を考えることが難しかったけど、全て売れたので良かったです。買っていただいた人に感謝です。【2年】」

3年生は、エコキャップ運動と上関の名産“ピワ”を使った製品の試作品の紹介を行いました。自分たちの考え出したピワを使った商品について、保護者などに使ってもらった感想をアンケートしました。いただいたご意見を今後の製品の改善に生かしていく予定です。



午前中の学苑祭及び午後からの総合的な学習の時間の取組を通して、生徒は多くのことを感じ、学び、そして成長することができました。



「自分の隣でスライドショー用の写真を選んでくれたり、写真を撮ってくれたり、企画の文を作ってくれたり、普段は見られない面が見られた。【3年】」のように仲間の良さをあらためて実感した生徒。「毎日毎日コツコツと努力を積み重ねていくと、できないこともできるようになることを知りました。今後の生活に生かしていきたいです。【2年】」のように、今回の充実感をもとに、新たな挑戦に向かう自信をつけた生徒。「自分が準備してきたことが使われていたのを見て、とてもうれしかった。後輩には頑張ってもらいたいです。【3年】」という3年生の思いを「初めての学苑祭で分からないこともあったけど楽しくできました。来年は中3なので小学生や1・2年生を引っ張っていけるようやっていきたいです。【2年】」と受け止め、歩み出そうとする生徒。このように、来年度に向けて新たなバトンが渡されました。

来年度さらなる『かみのせき学苑祭』になるよう学苑一丸となって取り組むことをお約束し、生徒の言葉で締めくくります。「今まで準備してきた大変なこともあったけど、先生方、地域の方々の支えがあったからこそ、とてもいい学苑祭になりました。感謝しかないです。ありがとうございました。【3年】」

来年度さらなる『かみのせき学苑祭』になるよう学苑一丸となって取り組むことをお約束し、生徒の言葉で締めくくります。「今まで準備してきた大変なこともあったけど、先生方、地域の方々の支えがあったからこそ、とてもいい学苑祭になりました。感謝しかないです。ありがとうございました。【3年】」